

事務事業マネジメントシート(令和2年度実績と令和3年度計画)

令和3年12月13日更新

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策	2 福祉の健康			所属部	健康福祉部		課長名	花田 秀樹
	施策	7 高齢者の自立と支援体制の充実			所属課	高齢者支援課		担当者名	木場田 可織
	施策の柱	25 高齢者の社会参加の促進			所属班	介護保険班		(内線)	1163
予算科目	会計一般	款3	項1	目4	事業連番10447	根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 ～ 年度)	18	年度)

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成9年旧合志町、旧西合志町にシルバー人材センター設立。合併後の平成19年に社団法人となる。平成24年公益社団法人へ移行。 ○老人福祉法第3条第2項（基本的理念）、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条（国及び地方公共団体の講ずる措置）に基づき、合志市シルバー人材センターの運営を支援するため、運営に要する経費の一部を補助する。 ○シルバー人材センターを設置する市町村として、社団法人熊本県シルバー人材センター連合会に負担金（賛助会費）を支払う。
【業務の流れ】	【補助金】①事業計画承認（補助金内示）②補助金交付決定③補助金概算払（2回）④事業実績報告審査（補助金額確定・概算払精算） 【その他】①理事会への出席②総会への出席③熊本県シルバー人材センター連合会賛助会費支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（負担金・補助金）
【意見や要望】	市シルバー人材センター会員から「事務系の仕事がしたいが、なかなか声がかからない」との意見が寄せられた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動) (DO) 市シルバー人材センターに補助金を交付し、高年齢者の就業を通じた生きがいの充実や社会参加の促進による地域社会の活性化を目指すセンターの安定した運営を支援した。	新規・拡充区分 3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 市補助金額 イ	予算の主な増減の理由 千円 市シルバー人材センター職員減による補助金の減
②対象指標(対象の大きさを表す指標) 合志市シルバー人材センターの会員 イ	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア シルバー人材センター会員 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 年齢にかかわらず働く意欲と能力がある人が就労できる イ	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア 就業実人員 人
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 シルバー人材センター会員のうち、年間を通じて1回以上就業し、収入を得た就業実人員とした。成果指標の目標値は、シルバー人材センターが設定する目標就業率×会員数とした。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア	千円	7,280	8,180	8,180	8,180	8,180	7,280	7,280	7,280	7,280
② 対象指標	ア	人	284	285	301	277	318	336	355	375	
③ 成果指標	ア	人	254	250	271	247	286	302	319	337	
投 入 費 量	事 業 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	7,410	8,310	8,310	8,310	7,410	7,410	7,410	7,410
		(A)のうち指定経費	千円	130	130	130	130	130	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 120	2 120	2 70	2 70	2 70	2 70	2 70	2 70	2 70
	(B)人件費計	千円	473	475	278	276	278	278	278	278	278
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,883	8,785	8,588	8,586	7,688	7,688	7,688	7,688	7,688

合志市

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 2年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 新規会員を獲得することは出来たが、新型コロナウイルスによる影響もあり、高齢や体調不良などによる退会者も多く、会員及び就業実人員は前年度より下回る結果となった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 シルバー人材センターのホームページに会員の取得資格を掲載するなど、情報発信の強化を行っている。引き続き、会員数及び就業機会の拡大のため、チラシ、ホームページ等を活用した情報発信、シニアパートナー登録の促進、県シルバー人材センター連合会との連携など様々な取り組みを計画し、実施していくことで達成の見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 事務系及び女性会員向け職域の開拓、介護予防・日常生活支援総合事業への参入など職域を拡大することにより就業人員を増やす見込みがある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 削減するとシルバー人材センターがこれまで低料金で行ってきた剪定、草刈等の請負金額の増額は避けられず、依頼件数の減少へつながる恐れがある。高齢者の雇用機会の確保のため削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 補助金交付事務に係る必要最小限の業務時間数である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第41条（指定等）に基づき定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業の機会を提供する団体として熊本県知事の指定を受けたシルバー人材センターへの補助金の交付は、受益機会において公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 定年退職者等で就業を希望する者についてその希望に応じた就業機会を提供する団体の育成は、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条（国及び地方公共団体の講ずる措置）に定められた行政の講ずる措置であり役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

シルバー人材センターが行う高齢者の就労支援は市の高齢者福祉施策と合致するもので、高齢者が就労や社会奉仕等を通じて、生きがいづくりや健康づくり、活力ある地域社会づくりに貢献することができる。
令和2年度も会員増や職域開拓・就業機会拡大の事業強化に積極的に取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響もあり、大きな成果は見られなかったが、引き続き成果向上に期待し、支援していきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善
事業のやり方改善（効率性改善 事業のやり方改善（公平性改善
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	△
	低下	△	△

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策